



封事

安政七庚申

服部文庫  
イ 17  
2187  
4



聖人小事之實之方之也

御馬 武子  
印出 心之

117  
2187  
4

○二月二日上 嘉三郎 託



御筆 任成下新方奉相見也

一 卷便 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 山中 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 本 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 其 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 仰 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 此 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 所 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 用 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 仰 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 仰 任成下新方奉相見也 任下相見也

一 右 任成下新方奉相見也 任下相見也





右のイナリ人... 出三...

二月廿六日封上

嘉三郎迄移上

此時先便即下成先顛倒旋向返上

先達山下... 此表相替候儀... 去三言夜九時... 由一統不...

三月六日一通封上

時事

嘉三郎迄移上

三月十一日三通一册封上

合三通也 一通此葉 一通山中茶別紙 一通時事

山中朝多... 代地定... 治々田... 此... 通書...



三月廿六日封上 嘉三郎正

山中五采別号

山中五采別号 出兼任信由 山下 誰有身名候 幸此程之候  
先名洞望仕居候 登序死 先使 考し上 正 向 既 及 終 研 友  
候 在 申 用 人 若 小 拜 見 乃 地 中 上 存 右 三 偏 出 馬 之 別 冊 初  
又 之 上 今 一 居 中 鳴 由 漢 美 度 不 一 批 肉 該 候 見 一  
奉 存 候

一 此 程 上 之 要 事 一 日 在 三 日 種 々 心 配 有 一 先 使 込 進 一  
其 美 師 傳 々 々 一 中 老 古 候 申 死 候 差 有 一 心 配 仕 候 所 候  
人 之 事 存 此 度 仕 居 者 多 一 出 申 事 又 七 均 又 極 又 况  
家 中 候 候 一 一 日 候 早 一 其 所 一 申 事 入 行 候 存 候 者 若  
十 一 日 申 用 人 越 一 山 々 一 向 有 一 進 候 事 候 一 日 計 仕 候

一 此 程 上 之 要 事 一 日 在 三 日 種 々 心 配 有 一 先 使 込 進 一  
其 美 師 傳 々 々 一 中 老 古 候 申 死 候 差 有 一 心 配 仕 候 所 候  
人 之 事 存 此 度 仕 居 者 多 一 出 申 事 又 七 均 又 極 又 况  
家 中 候 候 一 一 日 候 早 一 其 所 一 申 事 入 行 候 存 候 者 若  
十 一 日 申 用 人 越 一 山 々 一 向 有 一 進 候 事 候 一 日 計 仕 候

一 此 程 上 之 要 事 一 日 在 三 日 種 々 心 配 有 一 先 使 込 進 一  
其 美 師 傳 々 々 一 中 老 古 候 申 死 候 差 有 一 心 配 仕 候 所 候  
人 之 事 存 此 度 仕 居 者 多 一 出 申 事 又 七 均 又 極 又 况  
家 中 候 候 一 一 日 候 早 一 其 所 一 申 事 入 行 候 存 候 者 若  
十 一 日 申 用 人 越 一 山 々 一 向 有 一 進 候 事 候 一 日 計 仕 候

四月廿日封上

皇正祀 但四日所

私儀三月末分敷之風形之川龍死之逆上強耳在相成漸去初  
日出幼侍依之久之當他操様之石奉中上其入多存

一 中一系發細可奉中上先便奉中上之受三月廿七日中上言正上正成政  
内儀歸位振新多感之立川龍之石奉中上之書成陣之公之書  
書成之ん書印出之書台之書到成之石奉中上

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上  
一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上

五月六日封上

皇正祀

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上

五月十一日封上

皇正祀

一 此後中上之書印出之書台之書到成之石奉中上





右の候より御座り  
右の都令とあるは其の  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

○六月十六日  
嘉吉御記  
西條所御座り一通係

一 此程御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り

一 御座り  
御座り  
御座り



存候... 右社近... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠...  
法家約... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠...  
勸農... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠...  
早禱... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠...  
夏... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠...  
社... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠...  
丁...

六月廿九日封上 嘉三節近也

一昨日者二愚按之... 奉祀... 尊威多罪... 奉祀... 尊威多罪... 奉祀... 尊威多罪...  
一其義... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠...  
社... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠...  
古... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠... 御苦人... 社方互互... 儀誠...  
其子...

白備... 専治兵... 武事... 行...

若先... 耕... 部内... 行... 武事... 行...

中... 山... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

中... 部内... 行... 武事... 行...

立七社乃遂 印張部、 必有其誠心感泣者必信假然至其  
多表上已極 爰後今人心向之世既此 川流又加何致風行  
有之方是又于信之印信年相送年之村今一應印也其  
少和之類也如此後 印信元印用元 公致致心之極也承及  
定之印許實相印信也其信

○別段卷風社 卷別段相卷

此又事之重九印用印信也 左邊印信 自見印信

此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及

此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及

此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及

此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及

此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及

此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及

此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及  
此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及  
此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及

○七月十二日 覺封上 嘉言 託不覺 足信印信發書後 著此也 奉由八月

去昔本席席上無席相濟也 知事所力印信印信印信

芝浦、申其活魚社之、西村住候 翻錄 印信印信印信

御上之趣

奉殿中園為本席印信上之候 身之不一印信印信印信

遠信印信印信印信印信印信印信印信印信印信

此又事之重九印用印信也 印信元印用元 公致致心之極也承及

亦和... 在... 欠...  
 御...  
 ...  
 ...

△右...  
 ...  
 ...  
 ...

御東下後

○八月十日附 同十七日差上

尼崎表御多... 御... 御...

一 御道中... 御...

準定... 御...

所... 朝午...

一 御着... 市...

下... 御...

得... 御...

屏... 御...

御... 御...

御... 御...

成... 御...

Handwritten vertical text on a yellow slip of paper, likely a title or index entry.

折和

樂

△右

修

弓

右

# 御東

○八月十日

尼崎表

即

一御道中

準

所

一御着

下

得

屏

御

御

御

御

御



今午申刻と申何卒此と至申家申御恨中申御世世に御事と申  
其公更し御事公と申其古て御事と申所事と申御事と申

山中初更一葉以更出内法に候て誅訓今申一葉法に心

之如て是と刻に為らぬ方て今午申刻に候て御事と申御事と申  
切浮川田指し振合、候へば今午申刻に候て御事と申御事と申

予中と申候て今午申刻に候て御事と申御事と申御事と申  
宜候て候て、夫世に候て今午申刻に候て御事と申御事と申

浮あま、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申  
御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申

御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申  
御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申

御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申  
御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申

御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申  
御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申

御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申  
御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申

御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申  
御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申

御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申  
御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申

御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申  
御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申

御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申  
御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申、御事と申

○十月十一日封上

上院公尼勝抄紙退三ノ中交運家申時公彦聲有之而  
著延光院抄紙退三ノ中交運家申時公彦聲有之而  
當年三ノ申半申時公彦聲有之而  
下ノ新出上ノ申半申時公彦聲有之而  
多抄紙退三ノ中交運家申時公彦聲有之而  
少抄紙退三ノ中交運家申時公彦聲有之而  
右抄紙退三ノ中交運家申時公彦聲有之而  
左抄紙退三ノ中交運家申時公彦聲有之而  
下ノ新出上ノ申半申時公彦聲有之而

○酉ノ六月三日封上 山田幸藏

一 江戶御家中 宣旨多事其八第 一 御不注御注三 御不注御注

宣旨多事其八第 一 御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注

御不注御注三 御不注御注



信成... 公... 此... 是又... 甲... 上...

一... 別... 此... 不... 甲... 此...



八月六日丹次<sup>手四</sup>下御階入朝上封上丹次と  
尊論<sup>ト</sup>て奉教服候且杉山<sup>ト</sup>以<sup>テ</sup>身格式御進<sup>レ</sup>申<sup>ス</sup>  
間後候<sup>レ</sup>御身<sup>内</sup>意候由奉申候

八月八日<sup>七日</sup>候一昨日御下<sup>下</sup>御階入朝上封上丹次と

仰付<sup>ニ</sup>意<sup>テ</sup>の<sup>ニ</sup>取<sup>テ</sup>申<sup>ス</sup>事<sup>ト</sup>重<sup>キ</sup>難<sup>有</sup>信<sup>者</sup>ハ<sup>ハ</sup>併<sup>シ</sup>奉<sup>申</sup>事<sup>ハ</sup>先<sup>ハ</sup>申<sup>上</sup>事<sup>ト</sup>  
極<sup>メ</sup>内<sup>一</sup>二<sup>三</sup>手<sup>候</sup>事<sup>ト</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>由<sup>内</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>  
間可<sup>申</sup>候<sup>事</sup>  
持<sup>テ</sup>奉<sup>申</sup>事<sup>ト</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>  
二<sup>三</sup>手<sup>候</sup>事<sup>ト</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>  
着<sup>テ</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>  
中<sup>ノ</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>  
石<sup>ノ</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>申<sup>上</sup>候<sup>事</sup>

先<sup>ハ</sup>申<sup>上</sup>事<sup>ト</sup>  
御身<sup>内</sup>意候由奉申候  
先<sup>ハ</sup>申<sup>上</sup>事<sup>ト</sup>  
御身<sup>内</sup>意候由奉申候  
先<sup>ハ</sup>申<sup>上</sup>事<sup>ト</sup>  
御身<sup>内</sup>意候由奉申候











... (vertical text) ...

三月廿五日

御書下通上一同封也但見宛四月朔日川村二日祭後

御筆に西下雄有奉拜... (vertical text) ...



寺敷  
三ノ身ニ入ラズモノ也 今ノ世ウチ天下辺王ニテハウレモ天ノ心懸テハトモ  
トクイ王者ニテハ申種ノ仁政ヲ事行セズ只強ク有リウレハコウクウノ  
二ハシテスレ右様ニ心懸テ者ハ終身一史トテモ王者ニテハ救  
律ナキトメト事 辟言ニ世也 病ヲ羊取ルヤ 艾ヲ子入ラズモ同也  
ト申ルニ位

# 東歸後

手痛見今中情書未出采見内即書ト云六月七日出都帝御目通  
堂人情書出来上同九日封上 嘉三ノ此 然也 同十一日書中二所 朱不也 通其各  
下三ノ列ニ一冊 御書ニカシハ 事申也 事申也 事申也 事申也

先子ヨリ何事御書采見内即書ト云六月七日出都帝御目通

當將天トシ御書採見内即書ト云六月七日出都帝御目通

事起也 穀斗 事起朝相内也 尼得て西國ノ要路津京

坂ト也 兵部御書 潮ト也 因ト也 云云 相成る也

御書採見内即書ト云六月七日出都帝御目通

一事ニ事言持之シ采見内即書ト云六月七日出都帝御目通

事起時一且申書採見内即書ト云六月七日出都帝御目通

事起時一且申書採見内即書ト云六月七日出都帝御目通

事起時一且申書採見内即書ト云六月七日出都帝御目通

事起時一且申書採見内即書ト云六月七日出都帝御目通

事起時一且申書採見内即書ト云六月七日出都帝御目通









多々... 一河... 又

其度... 亦... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

△... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...

... 亦...



○ 弘治の御時とて之し

弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し

○ ☆ 弘治の御時とて之し

弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し

○ 弘治の御時とて之し

弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し

弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し 弘治の御時とて之し



春もあつた 川原をさそふを 踏まはるる 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を

〇 春もあつた

春もあつた 川原をさそふを 踏まはるる 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を

春もあつた 川原をさそふを 踏まはるる 春を 春を 春を 春を

春もあつた 川原をさそふを 踏まはるる 春を 春を 春を 春を

春もあつた 川原をさそふを 踏まはるる 春を 春を 春を 春を

春もあつた 川原をさそふを 踏まはるる 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を  
 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を 春を









乃乃の...  
...

○六月廿日御祭壇に於て御成程に於て

御祭壇に於て御成程に於て...  
...

御成程に於て御成程に於て...  
...

御成程に於て御成程に於て...  
...

御成程に於て御成程に於て...  
...

御成程に於て御成程に於て...  
...

御成程に於て御成程に於て...  
...

